



コマニーグループ サステナビリティ レポート2018

経営の理念

● 社是

我等の精神は**人道と友愛**である

「人道」とは人間として何が正しいかを考えて正道を歩むことであり、「友愛」とは仲間に対して家族のように親愛の情をもって接し、互いの成長を願って切磋琢磨していこうというものです。

本当に大事なものは、「金銭ではなく心である」つまり人と人、心と心のつながりを最も大切なものとして経営の基軸に据えることがコマニーであると創業者が明示し、その精神は今も脈々と受け継がれています。

● 経営の理念

全従業員の物心両面の^{しあわせ}幸福を追求すると同時に、 人類、社会の**進歩発展に貢献**する

会社が存在する目的として示しているのが、経営の理念です。

コマニーが存在する目的は、そこに集う全従業員が仕事を通じて物と心の両面の幸福を追求することです。それは、人間として正しい道(人道)を貫き、自分のためでなく、人のためにという利他の実践を通じて事業の発展によって社会に貢献することで実現できると考えています。

CONTENTS

01-02 経営の理念／トップメッセージ

03-04 サステナビリティ方針

05-06 コマニーグループSDGsの取り組み

07-10 トピックス

11-16 お客様第一の追求

17-18 お取引先様(サプライヤー)とのパートナーシップ

19-20 地球環境との共存

21-24 人間性尊重の職場づくり

25-28 社会貢献活動

29-30 コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

トップメッセージ

企業は世の中の幸福に貢献するために存在すべきだと考えています

世の中は今、大きな転換点を迎えているように思います。人類は長い歴史の中で、自らの地位と生き残りを賭けて争いを続けてきました。産業革命以降は各国各企業が経済的発展を追い求め、ひたすらに活動を続けてきました。その結果、経済は飛躍的に発展しました。しかしながら、我が国では人口減少や少子高齢化、正規雇用者数減少における若者の低所得化、晩婚化などの社会問題に加え、震災や水害といった天災が相次ぎ、先行きの見えない状況が続いています。世界に目を向けますと依然として戦争やテロが頻発し、世界の過半数がBOPといわれる低所得層の方々が占め、十分な生活ができていない現状があります。

この動きを大きく変えようとしたのが2015年。9月に開催された国連サミットでは「持続可能な開発目標」が国連加盟国193ヶ国の全会一致で採択され、12月には気候変動枠組条約締約国会議(COP21)にてパリ協定が採択されました。世界のすべての国、機関、企業、市民が手を取り合って誰一人取り残すことなく、貧困のない自由で平和な世の中を作り出すため、歩み始めたのです。

私たちの社会的使命を果たすために

私たちコマニーは、「企業は世の中の幸福に貢献するために存在すべきである」という確固たる信念をもち、私たちに関わる全ての人々が幸福になるような事業運営を目指して活動しております。私たちは創業以来、人間として何が正しいかを判断基準として原理原則を貫く「人道」の精神と、ともに働く仲間を愛し、切磋琢磨して互いに高めあう「友愛」の精神を何より大切に経営してきました。この精神のもと、私たちは経営の理念にありまるとおり「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献する」ということの実現に向けて邁進してまいります。

コマニーの事業はパーティションとともに歩んでまいりました。日本が高度経済成長に活気づいている約50年前、立ち並ぶオフィスビルの中に働く空間をつくり出すことから私たちの事業はスタートしました。それから半世紀が経ち、今ではオフィスにとどまらず、工場、病院、福祉施設、教育施設、公共施設など、さまざまな空間を創造しております。私たちはこれ

からも「人が家を一步出た瞬間から、より良く働き、より良く学び、より良く生きるための持続可能な環境づくり、人づくりに貢献する」ことを使命として、知識を高めるとともに技術を磨き続けることでその実現に向け前進してまいります。

さらに、私たちは世の中の幸福により大きく貢献できるように、事業活動を通じて得られた利益を事業充実のための投資や株主様への還元、従業員の物心両面の幸福、社会貢献活動などに有効活用し、貢献の循環を生むよう努めてまいります。また、私たちが目指す「関わる全ての人々が幸福になる経営」と、世界全体が実現を目指している持続可能な開発目標(以下、SDGs)は目的が一致していると考え、私たちコマニーは2018年4月2日に「コマニーSDGs宣言」を行ないました。私たちの生み出す商品やサービスがSDGsの達成につながるよう、社会問題や課題を見据えた事業活動を行なうとともに、事業活動に関係する各ステークホルダー(従業員、お客様、お取引先様、地域社会、地球環境、株主様)に対してもSDGsの実現項目を具体化し、活動してまいります。合わせて、国連グローバル・コンパクトの4分野10原則にあります「人権・労働・環境・腐敗防止」に積極的に取り組むことは企業が果たすべき社会的責任であると捉え、私たちは国連グローバル・コンパクトに参加し、10原則の実現を推進してまいります。

私たちが目指すサステナビリティ経営とは、事業活動のすべてにおいて、経済、社会、環境との調和の中で共存共栄し、人類、社会の進歩発展に貢献すること、そして、それを通じて当社に集う全従業員が生きがい、働きがいを感じていきいきと生きることを実現することです。

代表取締役 社長執行役員

塚本 幹雄



コマニーグループサステナビリティ方針

私たちコマニーグループは、企業は世の中の幸福に貢献するために存在すべきであるという信念のもと、創業当初より貫いてきた人道と友愛の精神をもち、幸福にすべき全てのステークホルダーの皆様、社会全体との共存共栄のうえに持続可能な未来を築いていくことに努めてまいります。

社会・お客様から必要とされ、信頼に満ちた企業であるために



「コマニーSDGs宣言」を行ないました



持続可能な開発目標 (SDGs)、通称「グローバル・ゴールズ」は、貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が平和と豊かさを享受できるようにすることを旨として、国連加盟国によって採択された普遍的な17の国際目標です。私たちコマニーグループは、「人道と友愛」の精神と、サステナビリティ方針にある「企業は世の中の幸福に貢献するために存在すべきである」という信念のもと、「持続可能な開発目標」に賛同し、2018年4月2日に「コマニーSDGs宣言」を行ないました。今後も持続可能な未来を築いていくことに努めてまいります。

「国連グローバル・コンパクト」に参加しています



国連グローバル・コンパクトとは、1999年の世界経済フォーラム (ダボス会議) の席上でコフィー・アナン国連事務総長 (当時) が提唱したイニシアチブで、2000年7月26日にニューヨークの国連本部で正式に発足しました。私たちコマニーグループは、地球規模で責任ある企業として行動し、社会の課題を解決していくことを国際社会に表明しました。グローバル・コンパクトの「人権・労働・環境・腐敗防止」の4分野にわたる10原則を支持・実践することにより、持続可能な社会の発展に向けた取り組みを推進してまいります。

1

お客様第一の追求

私たちは、お客様に感動と満足を得ていただくため、商品の開発から販売・生産・施工・サービスに至るまで、常にお客様を第一に考え、安全で高品質な、環境に優しい商品をご提供することによって、快適空間・機能空間を創造してまいります。

2

お取引先様(サプライヤー)とのパートナーシップ

私たちは、お取引先様とともに技術を高め、世の中の成長・発展に貢献するため、誠実で公正な取引を旨とし、パートナーとして共存共栄の関係を築き、最適な商材を安定的に供給することを目指してまいります。

3

地球環境との共存

私たちは、後世に美しい地球環境を残すため、「パーティション」そのものがもつエコ特性を活かし、商品展開を推進すると共に、生産活動において発生するエネルギーに対しても省エネ対策に取り組み、自然と共生できる企業活動を推進してまいります。

4

人間性尊重の職場づくり

私たちは、すべての従業員が主役となり、働きがいと成長を感じられる職場環境を実現するため、一人一人の人間性を尊重し、活躍の場を与えられる制度づくりと、常に明るく前向きに活動できる組織風土づくりに努めてまいります。

5

社会貢献活動

私たちは、将来にわたって子どもたちに明るい未来を残すため、従業員自らの良心によって主体的に活動することを基本に考え、地域貢献、日本貢献、世界貢献に取り組んでまいります。

6

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

私たちは、経営の理念をもとに、企業価値を増大させ、経営効率を高め、公正で迅速な意思決定の向上に努めていくことをコーポレート・ガバナンスの基本方針としております。

今後も経営の健全性および透明性を確保するために、経営監督機能および法令遵守体制強化の重要性を認識し、コーポレート・ガバナンスの充実を図ってまいります。

コマニーでは、自社の活動領域を「プロダクト・サービス」と「ガバナンス」の2つに分野を大きく分けて、事業活動に関わる各ステークホルダーに対して、社会問題や課題を見据え、SDGsの実現に向けた実施項目を具体化し、事業活動を行なっていきます。これらの課題に対し、私たちはメーカーとして知識を高め、技術を磨き高めることによって貢献を行なっていきます。

SDGsと当社の取り組み

活動領域	SDGs目標	社会課題 社会背景	現在の取り組み施策	今後の実施施策
プロダクト・サービス	市場全体		<ul style="list-style-type: none"> お客様満足度調査の実施（当社商品を購入や指定するお客様） 安心・安全を社会に提供（高耐震間仕切シンクロンの普及） 	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインのさらなる研究 産学連携によるトランスジェンダーのトイレ利用の研究と展開
	オフィス市場	 <ul style="list-style-type: none"> 生産性向上 採用、雇用 	<ul style="list-style-type: none"> 産学連携による高耐震間仕切シンクロンの販売展開（従業員の安全） 	<ul style="list-style-type: none"> ワーカースタッフの生産性向上研究と商品展開
	工場市場	 <ul style="list-style-type: none"> 国内回帰 BCP対策 	<ul style="list-style-type: none"> 産学連携による高耐震間仕切シンクロンの販売展開（設備の安全） 耐火ファクトリーブースの販売展開（まもっ太郎の展開） 	<ul style="list-style-type: none"> 生産性の向上や品質確保に向けた自動化ロボット商品展開
	病院・福祉市場	 <ul style="list-style-type: none"> 高齢化社会 介護問題 医療格差 	<ul style="list-style-type: none"> 木製引戸の販売展開（やさしいドアシリーズの拡充） 	<ul style="list-style-type: none"> ドアから壁への商品力強化と展開
	学校市場	 <ul style="list-style-type: none"> 少子化社会 長寿命化対策 教育改革 	<ul style="list-style-type: none"> 長寿命化適合商品の販売展開（学校間仕切SPartの展開） 	<ul style="list-style-type: none"> 教育施設の在り方研究と商品展開
	公共市場	  <ul style="list-style-type: none"> 施設の国際化 利用者の多様化 	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインに配慮した商品展開（引戸、ディアード） 	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインに配慮した商品の機能性向上と拡充
ガバナンス	全体		<ul style="list-style-type: none"> 社内サステナビリティ経営推進チームによる活動促進 	<ul style="list-style-type: none"> 国際グローバル・コンパクト参加と活動推進
	従業員	   <ul style="list-style-type: none"> 働き方改革 人財育成 ダイバーシティ 	<ul style="list-style-type: none"> 社員教育の充実（理念教育、スキル・技術教育） 健康経営の充実（健康診断項目の充実、被扶養配偶者の健康診断補助、メディカルマッサージ器設置） 従業員満足度調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> テレワーク等多様な働き方への対応 外国人労働者の採用 社内における健康朝食/昼食の提供
	お取引先様	  <ul style="list-style-type: none"> 児童労働、強制労働 下請法の準拠 	<ul style="list-style-type: none"> お取引先様満足度調査の実施（当社に資材・材料加工を提供する得意先様） 障害者支援施設への自立支援活動（社会福祉法人うめの木学園へ委託） 	<ul style="list-style-type: none"> サプライチェーンマネジメントの確立 お取引先様への技術サポート
	株主・投資家様	 <ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス ESG投資 	<ul style="list-style-type: none"> 社外役員との積極的な対話によるガバナンス強化 コンプライアンスホットラインの活用（不正行為等の早期発見と是正を図る） 	<ul style="list-style-type: none"> ESGに考慮した経営の推進
	地球環境	   <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化 気候変動 CO2排出 	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの採用（2013年より400kw太陽光発電を搭載） 製品の廃材削減のための実寸製作の展開 	<ul style="list-style-type: none"> RE100加盟を前提とした再生可能エネルギーの採用
	社会貢献	   <ul style="list-style-type: none"> NPO支援 被災地支援 ボランティア活動 	<ul style="list-style-type: none"> カンボジア支援（19基の井戸支援、図書館建設、書籍寄付） 被災地へのボランティア活動（南三陸、熊本、朝倉等） 	<ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティとの連携強化

学校施設の長寿命化改修工事への取り組み

現在の公立小中学校の校舎は、約半数が第二次ベビーブーム(1971年～74年)の児童増加に対応するために建てられ、今後15年間で建て替えの目安となる築45年を一斉に迎えることとなり、校舎の老朽化が進んでいます。

そこで文部科学省は、2013年に「長寿命化改修工事」の推進に乗り出しました。長寿命化改修工事は校舎の骨格を残して改修を行ない、耐用年数を築80年まで延長させる工事で、工事費用も従来の建て替え工事と比べ約40%圧縮でき、厳しい財政状況の中で、「老朽化対策の切り札」と位置付けられています。

学校間仕切シリーズ「SPart(スパート)」



コマニーの学校間仕切シリーズ「SPart(スパート)」は、長寿命化改修工事で求められる“変化に対応できる教室づくり”の実現をキーコンセプトに開発した商品です。これからの学校で最も変化するのは「児童・生徒の数」と「授業のやり方」です。

少子化が進み児童・生徒数は減少し、利用されない教室が増えてきます。また、グループ学習など新しい授業スタイルへの変化により、これまでの教室の広さでは授業が行えなくなっていくます。

「SPart(スパート)」は、これらの課題解決に貢献できる学校間仕切です。2018年春に竣工した文部科学省の長寿命化改修工事のモデル校にも採用されるなど、注目を集めています。

《経営企画二課》西 寛之

長寿命化改修工事は、既存校舎の劣化状況調査など、建て替え工事以上に調査項目が多く、全国の教育委員会にとって実施のハードルが高いものになっています。

コマニーでは、教育委員会がスムーズに長寿命化改修工事を実施できるよう、一般社団法人文教施設協会と協力し、教育委員会の方を対象としたセミナーの開催や、全国の教育委員会を訪問して長寿命化改修工事のモデル校の事例紹介を進めています。

長寿命化改修工事へスムーズに移行するための提案や、「SPart(スパート)」によって実現できる長寿命化改修工事に適した教室空間の紹介を通じて、子どもたちが多くの時間を過ごす学校がより良い空間になるよう、また、教職員の方にとってもより良い教育空間になるよう活動をさらに進めていきます。



さらに進化する高耐震間仕切「シンクロン」

30年以内に発生する確率が70%以上に高まっている南海トラフ地震や首都直下地震などに対応して、オフィスなど、室内空間の被害の軽減（減災）や従業員の安全を確保することは、事業の継続計画（BCP）策定や事業継続マネジメント（BCM）の最も基本的な取り組みです。

コマニーでは、高耐震性能を有した新商品を発売し、より現実に即した実証実験でお客様に安心・安全をお届けしています。

シンクロン商品の拡大：高意匠間仕切「SUP」



営業の声から生まれた「SUP」をスチールパーティションのラインナップに新商品として加えました。この商品は意匠の高級感を持ちながら、高耐震性能を搭載したパーティションです。

パーティションの構造はパネルを柱に引っ掛ける底目地式工法であるため耐震性能には一般的に課題が残ります。今回開発した「SUP」は、その課題を克服した安心・安全のパーティションです。

《製品開発一課》今川 隼人

商品の立ち上げはまさに壁の連続でした。一つ目の壁は「短期間での開発」、二つ目の壁は「高耐震性能」。いずれも、既存商品の型材や設備を流用する設計方法を選択したり、これまでの加振試験で培ってきたノウハウから結果を予測・実証し、仕様の決定に至りました。幾度となく加振結果と格闘した末、耐震性能を大幅に向上させることができました。今後も商品ラインナップやタイプ追加を行ない、シンクロン商品を育てていきたいと思えます。



●シンクロンの更なる安心・安全追求の研究：

実物大三次元加振試験（耐震試験）

3年半にもわたる金沢工業大学様との共同研究で、大学内にある二次元加振試験機で数えきれないほど多くの加振試験を実施して生まれた「シンクロン」。さらにコマニーが自信を持ってお客様に安心・安全をお届けできるよう「シンクロン」は三次元加振試験（耐震試験）も行ないました。その結果から耐震性能を改めて確認できました。



左記のQRコードをスマートフォン等で読み取ってください。三次元加振試験（耐震試験）の様子を動画で確認いただけます。



各ステークホルダーの幸福に貢献するために、 3つの満足度調査を実施

コマニーでは、関わるすべての人の幸福に貢献する企業となるために、「お客様」、「お取引先様」、「地球環境」、「従業員」、「地域社会」、「株主・投資家様」にどのように貢献するかをサステナビリティ方針に示し、それにのっとって活動を進めています。

2017年度においては、3つの満足度調査を実施しました。当社の商品をお取り扱いいただくお客様に対して、「お客様満足度調査」を実施し、現在の当社に対する評価を確認すると共に今後の改善事項についてご意見をいただきました。また、当社に資材や材料加工していただいている協力業者様に対しては、「お取引先様満足度調査」を実施し、当社に対する要望等のご意見をいただきました。従業員に対しても、「従業員満足度調査」を実施し、働くことへの満足度、進む方向への理解度・共感度等について調査しました。

●お客様満足度調査

- ・調査期間 …… 2017年10月2日～11月20日
- ・調査対象 …… 販売店様を主対象にエンドユーザー様、設計事務所様、建設会社様
- ・配信数と回答数… 配信数(691名)、回答数(371名)、回答率(53.7%)

(調査結果)

- 比較的満足度が高い要素として、「商品」に関わる評価と「営業員や工務員」および「施工」の対応があげられました。商品では、商品ラインナップやバリエーション、さらに品質面で評価をいただきました。また、営業員や工務員では、対応力や提案力で評価をいただきました。施工では、「安全配慮」、「整理整頓」、「施工納まり」等の項目で高い評価をいただきました。
- 比較的満足度が低い要素として、「施工」の地域格差と「納期」対応があげられました。施工では、施工者のスキル、モラル面でレベルのバラツキがみられるとのご指摘をいただきました。また、納期では、見積り、作図など、多くのご指摘をいただきました。
- お客様により満足いただけるよう課題の解決やさらなるサービス向上に取り組んでいきます。

回答者の属性

単位:(名)

(合計)	販売店様	エンドユーザー様	設計事務所様	建設会社様
371	278	62	15	16
100%	75%	17%	4%	4%

●お取引先様満足度調査

- ・調査期間 …… 2018年2月20日～3月5日
- ・調査対象 …… 仕入先様・外注先様の経営者様、管理者様、窓口担当者様
- ・配信数と回答数… 配信数(171名)、回答数(120名)、回答率(70.2%)

(調査結果)

- 調査内容として、「納入いただく品質要求」、「納期」、「価格条件」、「発注業務」、「購買担当者の対応」等、広くお取引全般についてご意見をいただきました。
- 比較的満足度が高い要素として、「購買担当者の対応」は概ね良好であり、合わせてコンプライアンス的には不当な値引き要請や互恵取引の強要は見受けられませんでした。
- 比較的満足度が低い要素として、納期面における改善要望をいただきました。今後相互にコミュニケーションができる場を増やし、改善を進めていきます。

回答者の属性

単位:(名)

(合計)		経営者様	管理者様	担当者様
	仕入先様	2	35	49
	外注先様	8	7	19
120		10	42	68
100%		8%	35%	57%

●従業員満足度調査

- ・調査期間 …… 2017年11月29日～12月29日
- ・調査対象 …… コマニー本体の全従業員(1,012名)
- ・回答数 …… 回答数(684名)、回答率(67.6%)

(調査結果)

- 概ね前回調査(2015年)と比較して、コマニーへの愛着度、働くことへの満足度、進む方向への理解度・共感度、今取り組んでいくことへの実践度は向上していますが、まだまだ解決していく課題はありますので、その改善に取り組んでいきます。
- 解決すべき主な課題としては、働き方改革につながる環境や条件などがあると認識しています。

回答者の属性

単位:(名)

(合計)	管理監督者	従業員
684	136	548
100%	20%	80%

ISO9001 / 14001 2015年改正規格への移行対応の認証を取得

コマニーは、国際標準規格(ISO)に適合した品質・環境のマネジメントシステムを経営のための重要なしくみに位置づけて運用し活動しております。2015年9月にISO9001とISO14001の改訂版が発行されました。当社も直ちに社内のマニュアル・規程などシステムの改訂に取り組み、2017年4月より運用を開始、10月には認証機関の審査を受け、11月に登録となりました。規格改正に合わせて、当社では品質と環境のマネジメントシステムの統合を図るとともに、規程の統廃合などにも取り組みました。今後もよりよい品質と一層磐石な品質管理の達成、ならびに地球環境・社会環境に配慮し、持続可能な社会の実現に貢献できる企業を目指してまいります。



新規格に基づく内部監査風景

【品質・環境統合方針】

コマニー株式会社は、企業は世の中の幸福に貢献するために存在すべきであるという信念のもと、高品質のパーティションの提供を通じて、人がより良く働き、より良く学び、より良く生きるための環境を創造するとともに、地球環境保全を図り、持続可能な未来を築いていきます。

1. 私たちは、お客様に感動と満足を得ていただくため、商品の開発から生産・販売・施工・サービスに至るまで、常にお客様を第一に考え、安全で高品質な、環境に優しい商品をご提供することによって、快適空間・機能空間を創造します。
2. 私たちは、後世に美しい地球環境を残すため、「パーティション」そのものがもつエコ特性を活かし、商品展開を推進すると共に、生産活動において消費するエネルギーに対しても省エネ対策に取り組み、また、汚染の予防に努め、自然と共生できる企業活動を推進します。
3. 私たちは、品質・環境関連の法規制等遵守義務を遵守するとともに、品質・環境統合マネジメントシステムを継続的に改善します。
4. 私たちは、特に以下の項目については、目標を定め、重点的に取り組みます。また、目標は定期的に見直し、必要に応じて改訂を行ないます。
 - (1) お客様の声に耳を傾け、お客様のご要望にお応えする。
 - (2) 仕事の質を高め、顧客満足度の向上を実現する。
 - (3) 省エネ、創エネを推進し、温室効果ガスの排出量を削減する。
 - (4) 循環型社会の実現に向け、資源の有効利用、廃棄物の削減を推進する。
 - (5) パーティションのライフサイクルに配慮した商品を提供する。
 - (6) 環境社会貢献活動を推進する。

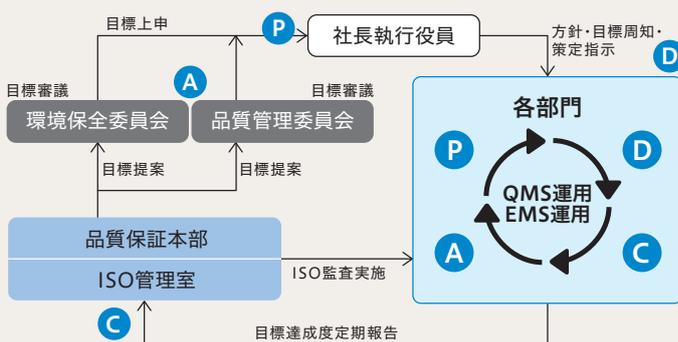
《品質保証課》山田 一恵

ISOの規格改訂を機に、別々に運用していた品質と環境のマネジメントシステムのマニュアルや方針を統合し、品質・環境統合マネジメントシステムを確立しました。

システムを確立するにあたっては、事業活動と乖離していると思われるがちな品質、環境のISO活動と事業とのつながりを明確にし、「よりわかりやすく、より身近なものに」という点にこだわりました。統合により、会社のビジョンや目的・目標に直結したマネジメントシステムとなり、今後はより一層の成果につなげていきたいと考えています。



【統合マネジメントシステム】





お客様第一の追求

私たちは、お客様に感動と満足を得ていただくため、商品の開発から販売・生産・施工・サービスに至るまで、常にお客様を第一に考え、安全で、高品質な、環境に優しい商品をご提供することによって、快適空間・機能空間を創造してまいります。

1-1 製品への取り組み

コマニーは、これまで培ってきた数々の技術的ノウハウをベースに、「品質・機能」「安心・安全」「環境・社会貢献」の3つをコンセプトに掲げ、お客様に感動という最高の価値を提供すべく、快適空間・機能空間を演出できる「モノづくり」を目指してきました。今回、さらにプロダクトデザインの観点から、「品格・快適」といった五感に訴える価値創造にも取り組んでいます。

●コマニー製品開発の4つのコンセプト

これまでの3つのコンセプト「品質・機能」「安心・安全」「環境・社会貢献」に、新たに「品格・快適」を追加しました。



2017年度の新商品・取り組み活動

コマニー製品開発のコンセプトのもと、2017年度は10製品の開発を行ないました。主な商品を紹介いたします。

①高耐震間仕切「シンクロン」の製品拡大

一昨年度の当社主力商品である不燃間仕切「EUP」やアルミ間仕切「SL/PL」の耐震化(シンクロン化)に引き続き、2017年度は耐震性能を有する高意匠間仕切「SUP」を開発しました。これは一般的に地震に弱いとされている高意匠の底目地仕様に対し、高耐震性能を付加させた製品です。

※P8に詳細内容を記載しています。



②避難安全検証法に対応できるファイアーカットドア「FCD」

昨今、ビル建築や改修においてその建築コストを抑えるために、避難安全検証法に対応した内装仕上げの建築が増加しています。その避難安全検証法で求められている防火性能や遮煙性能、そして安全性能を兼ね備えた業界初の間仕切用扉「FCD」(ファイアーカットドア)を開発しました。



③高意匠間仕切「ブリディア」のタイプ追加

高意匠間仕切「ブリディア」のガラス連装仕様において、目地幅を3mmと細くし、さらにテープジョイントにより意匠を向上させた仕様の設定や、各種ガラスドアの追加設定などバリエーションを充実させました。



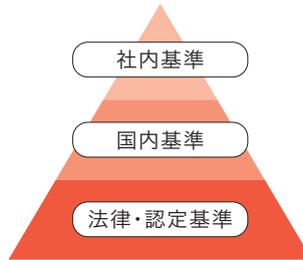
関連するSDGs



コマニー製品開発の5つのこだわり

1. 安定した品質・機能を追求した製品開発

私たちはお客様に安定した品質・機能を持つ商品をお届けすることを追求しています。そのため国内基準よりも厳しい社内基準を定め、社内試験を実施し、基準に適合した製品開発を行なっています。



社内試験風景



2. ユニバーサルデザインを基軸とした製品開発

過去10年にわたり、「安心・安全を追求した人にやさしいモノづくり」を目指し、ユニバーサルデザインの研究を継続してきました。2017年度から新たな取り組みとして、性的マイノリティ(LGBTなど)にも目を向け、金沢大学様・株式会社LIXIL様との3者による「オフィストイレのオールジェンダー利用に関する研究会」を発足させ、一人でも多くの方が、より安全に、快適に使いやすいトイレ空間創りを目指し活動しています。

LGBT勉強会風景



3. 環境に配慮した製品開発

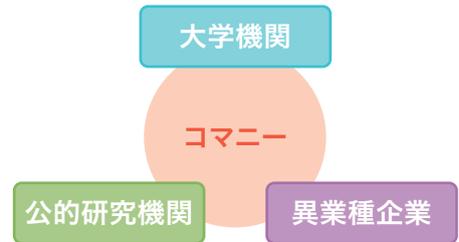
多様な命を育む美しい地球を次世代へと受け継いでいくために、環境保護に配慮したエコ商品の開発に取り組んでいます。現在は、特に6価クロムフリー化に力を入れて、昨年度は間仕切の主材料として使われている亜鉛メッキ鋼板の6価クロムフリー化を実現しました。現在は、メッキ加工における6価クロムフリー化を目指しています。

エコ商品とは

区分	基準
エコマーク認定商品	(公財)日本環境協会が認定するエコマーク商品
グリーン購入法適合商品	グリーン購入法に定める基準に適合した商品
コマニーエコラベル商品	コマニーオリジナルの社内基準に適合した商品

4. 基礎技術の蓄積、新規および応用技術へのチャレンジ

お客様のニーズは常に変化し続け、世の中の技術も進化し続けています。そのお客様の多様なご要望にお応えし、商品付加価値を向上させるために、大学機関や公的研究機関、異業種企業などと共同研究を行ない、基礎技術を蓄積するとともに、新しい技術・応用技術に対して常にチャレンジしております。



5. 人の五感に訴えるモノづくりへのチャレンジ

コマニーでは新たにお客様の五感に訴えるモノづくりを推進しています。プロダクトデザインの視点を製品開発プロセスの中に取り入れ、快適性や機能性に加えることで、人の感性に届く製品づくりを目指しています。





お客様第一の追求

1-2 品質への取り組み

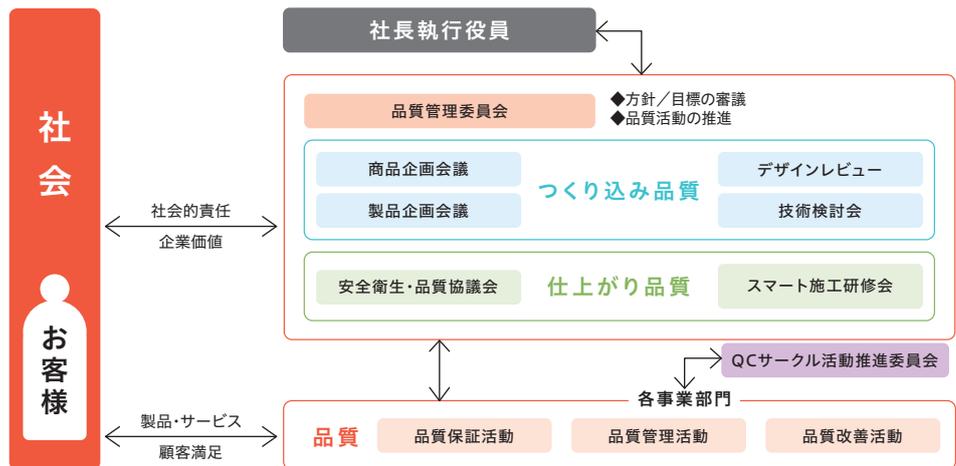
コマニーでは、完璧な品質の製品・サービスを提供することで、お客様に感動と満足をしていただき、信頼される企業活動を推進しています。そのために右記の4点に徹底して取り組み、多くのお客様に喜んでいただくとともに社会に貢献してまいります。

- ① 製品の法令遵守の徹底
- ② お客様からのクレーム・苦情ゼロの追求
- ③ 常に市場とリンクした品質基準のフィードバック
- ④ 小集団活動による技術力の向上

●品質保証体制

コマニーでは、お客様満足の上昇につながる製品品質の確保を目的として、開発・製造から販売・施工・アフターサービスまで一貫した全社横断の品質管理委員会を毎月開催しています。この委員会には、生産部門、物流部門、営業・工務部門、資材調達部門、施工部門の責任者が参加し、品質に関してさまざまな情報を共有するとともに、課題解決や改善計画についての意見交換を行なっています。

また、商品企画からサービスに至る各ステップにおいては、デザインレビューをはじめとする評価会・検討会や数多くの品質試験装置による性能試験を通して、徹底した品質確認を行っており、グループ全体で品質向上を図っています。



●品質活動の取り組み

コマニーでは品質保証活動の定着を目指し、業務と一体となった品質改善活動を実践しています。

そのために、品質マネジメントシステムを運用するとともに、高いレベルの品質基準を設定し、常に安心・安全に視点を置いた各種試験を繰り返し行なっています。同時にモノづくりのベースである人づくりを重点とした改善活動にも取り組んでいます。

1. 高いレベルの品質基準の設定

コマニーでは、お客様に安心・安全をお届けするために、公的規格・基準等を参考に適宜改訂を行ないながら、厳しい品質基準を設定し、安定した高品質の商品をお客様にお届けしています。

QC活動(小集団活動)

全社大会は、40年間継続して開催しています。

QC活動(小集団活動)をDASH活動と銘打って、職場ごとに結成されたグループが会社方針に基づきテーマを挙げ、改善活動を行なっています。優秀なグループは年2回開催される全社大会で、全社員に活動内容を披露し、お互いの改善技術をさらに磨き上げます。また、優秀な成績を収めたグループは、社外の大会へも積極的に参加し、他社の事例も参考にすることで、レベル向上に努めています。



2. 安心・安全な製品づくり

コマニーでは、品質基準を適用した性能試験と耐久性試験を繰り返し行ない、製品の安全性と品質機能を定期的に評価・確認しています。

また、世界基準の不燃燃焼試験装置を自社に導入し、不燃認定を取得している製品に対しても、社内で定期的な不燃性能試験を行ない、定められた性能を保持し続けているかを確認しています。



開閉試験装置



不燃燃焼試験装置

●参考:主な試験装置

- 衝撃試験機
- 分布圧試験機
- 層間変位試験機
- 普通扉開閉試験機
- 引き違いドア試験機
- HD開閉・衝撃試験機
- 塩水噴霧試験機
- 酸、アルカリ浸漬試験機
- 湿潤試験機
- 恒温恒湿試験機
- 引張圧縮試験機
- 落錐衝撃試験機
- 耐水試験機
- 耐火炉試験機
- コーンカロリメータ試験機
- 横振り試験機
- 走行試験機
- 加圧繰り返し試験機
- ドアノブ回転試験機
- 圧接試験機



製品検査風景



左記のQRコードをスマートフォン等で読み取ってください。
品質、性能、安全性を評価するための製品試験の様子を動画で確認いただけます。

●2017年度に小型耐火炉試験装置を導入

小型耐火炉試験装置の導入により、防火・耐火認定の予備試験を実施することで、仕様の確立と開発リードタイムのハーフ化(後戻りのない開発→トライ&エラーの極小化)につなげています。

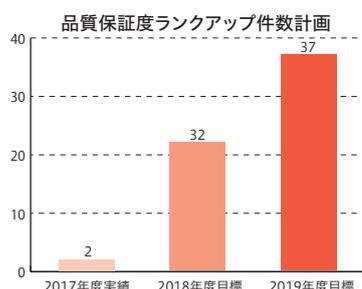
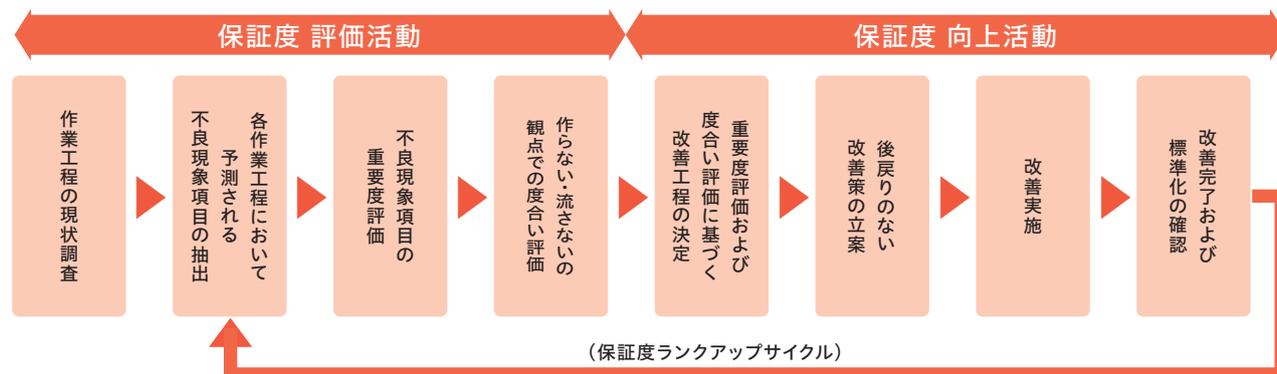
また、これまでできていなかった基礎データの収集を通して、適正材料の選定および改善改良につなげていきます。



小型耐火炉試験装置

3. 品質保証度手法を活用した不良撲滅活動

製造工程ではリスクアセスメントの一環として現状の各作業プロセスごとに予測される不良リスクと「不良を作らない、流さない」の保証度合いを比較評価し、お客様の信頼を得るために、人に頼るリスクを最小限に抑え、仕組み化⇒標準化⇒機械化・自動化へと移行させることにも取り組んでいます。



品質保証度をランクアップすることは、
モノづくりにおいて良品100%へ
保証度を高めることであり、
お客様に完璧な製品をお届けする活動です。

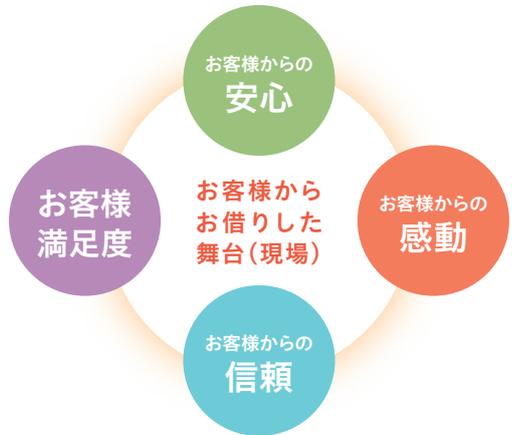


お客様第一の追求

1-3 コマニースマート施工

パーティションは、最終工程である施工がお客様からお借りした舞台(現場)で組み立てられ、その出来栄でお客様の評価が決まる商品です。

コマニースマート施工は、施工を完璧にやり遂げ、お客様に感動と信頼をいただき、同時に施工技術者が誇りとやりがいを感じられることを目指したコマニー独自の取り組みです。施工技術者が施工技術を磨くのはもちろん、人格を高め、品格ある所作を身に付けることにより、これまで以上にお客様から安心して仕事を任せていただける、超一流の施工体制の構築を推進しております。2018年4月1日より、関連子会社である専門工事会社のコマニーエンジニアリング(株)を吸収合併し、施工を完全内製化することで、推進強化を図ってまいります。



●スマート施工推進の取り組み

1. 心と技を高めるスマート施工研修

コマニーの社内施工班を対象とした「スマート施工30」活動は30の実践基準達成度を日々評価しています。その結果に基づいた施工研修では全施工班が集合教育によってスマート施工の技術向上を図り、一定の成果を上げることができました。今後もさらに技術の向上を目指し、信頼いただける施工に取り組んでいきます。



旧評価 (30点満点 項目ごとの○、×評価)

2017年度 26.6点



新評価 (100点満点 項目ごとに5段階評価)

2018年度 評価目標 90点

これをモデルに協力業者様への展開も図っています。



2. おもてなしの心と技を競う全国スマート施工競技大会

全国スマート施工競技大会は、お客様から感動・安心・信頼いただける所作と技能向上を目的としています。施工協力業者様と施工改革を進めるため、コマニーの施工が進む方向(ビジョン)を共有・共感する場として開催し、施工技術者が心と技を競い合います。

2017年度大会の競技演目はグッドデザイン賞受賞の「トイレ用折れ戸」と金沢工業大学様との共同研究で商品化された高耐震間仕切「シンクロン」でした。



3. 安全を誓う安全衛生推進大会

安全衛生推進大会は全国5ヶ所で開催され、全作業員の安全と健康を確保し労働災害ゼロを目指すための意識向上の場としております。また同時に記念講演を開催し、昨年度はフリーアナウンサー・スポーツ評論家の石川顕氏より「スポーツから学んだリスクマネジメント～プロはミスをしなさい!～」と題してご講演をいただき、大変貴重な時間を全作業員と共有しました。

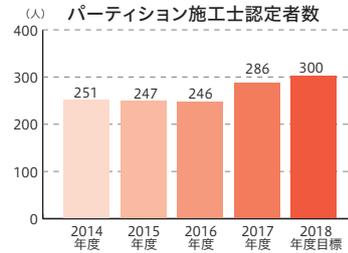




4. 技術者の技能と地位向上を目指すコマニーパーティション施工士制度

スマート施工確立の一環として、自己研鑽を奨励するとともに技術者の目指す技能を「見える化」した制度です。施工は、この制度による有資格者が担当しています。

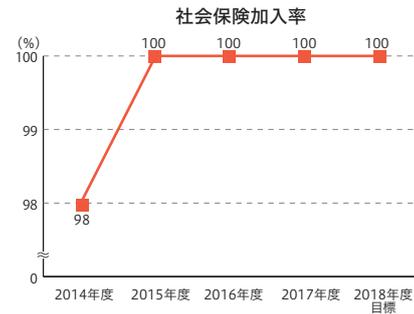
年度	2級	1級	有資格者
2017年度（実績）	283名	3名	286名
2018年度（目標）	292名	8名	300名



● 施工体制遵法の取り組み

1. 施工協力業者への社会保険加入促進

国土交通省より社会保険加入促進のため、2017年4月から未加入者の現場入場を禁止する指導が出ています。コマニーでは、2014年7月より加入業者に対し法定福利費支援を開始し、現在、契約業者の社会保険加入率100%を維持しています。今後も施工協力業者様が安心して仕事ができる体制を構築していきます。



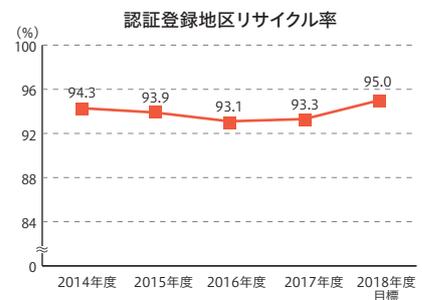
2. 安全書類に必要な作業員情報管理のしくみ

労務安全書類を迅速かつ正確に作成・提出するため、労務管理サービスの「グリーンサイト」(株式会社MCデータプラス)を活用し、逐次更新することで現場作業員情報の最新管理を行なっています。

3. 循環型社会形成に向けた環境改善の取り組み

パーティションは解体・移設が容易な環境にやさしい商品です。さらに、コマニーでは不要となった解体品を材料まで分別、リサイクルする仕組みがあり、業界初の広域認定を取得いたしました。

広域認定制度は使用済み自社製品をお客様から回収・リサイクルする業者を環境省が認定することで循環型社会形成を目指す制度です。コマニーでは首都圏をモデルにリサイクルの仕組みの運用を進めています。



スマート施工に対する満足度調査

スマート施工に対するお客様の満足度を知ることも大切だと考えています。

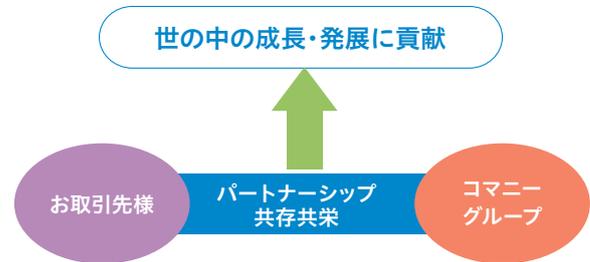
2017年11月に実施したCS調査では、施工全般の平均評価点は100点満点中77点でした。

特にゼネコン様からは施工技術者の印象、安全への配慮、整理整頓、施工時間などで81点から88点と高い評価をいただきました。本年度も多くの教育の場を持つことで、さらに技術とサービスの向上を目指していきます。



お取引先様(サプライヤー)との

私たちは、お取引先様とともに技術を高め、世の中の成長・発展に貢献するため、誠実で公正な取引を旨とし、パートナーとして共存共栄の関係を築き、最適な商材を安定的に供給することを目指してまいります。



●コマニーグループ購買基本方針

コマニーは、快適機能空間を提供する技術力をもって、お客様に最高品質の商品やサービスを提供していくために、お取引先様との共存共栄の関係を大切にしながら、公正で公平な調達取引を行なっていきます。

1. 共存共栄の精神

- ①売り手と買い手は常にパートナーとして平等であり、それぞれが効率よく効果的に協働することを基本とします。
- ②お取引先様との長期的な信頼関係を構築し、相互協力により共に繁栄することを目指します。
- ③お互いが社会貢献を目的に、自主的改善に取り組むことを促進します。

2. 取引の公平性

公平かつ公正な取引を行ない、不当な取引制限を行ないません。またサプライチェーンの取り組みを強化します。

3. 法令遵守

取引に当たり関係法令を遵守し、調達業務を遂行します。

4. 地球環境に配慮した調達活動

自然環境・生態系への影響に配慮し、環境負荷の少ない調達品の選定により、地球環境の維持・改善に寄与します。

1. サプライヤー様との協働体制

お取引先様との協働体制強化を目的に、2018年1月にはじめて「お取引先様満足度調査」を実施しました。これまでのお取引を通じてさまざまな評価・要望をいただき、お取引先様の真のご意見として真摯に受け止め現状の課題を解決し、さらによりよい関係の構築に努めていきます。また、お取引先様と協働して環境保全、人権尊重、労働安全に取り組み、サプライチェーンマネジメントを確立していきます。

<お取引先様との図面技術向上活動>

お互いの技術力向上のため、お取引先様と当社設計技術部門が交流を図り、意見交換できる場を設けるとともに、定期的に品質会議に参加させていただき、共に品質向上を目指しています。



<障害者支援活動>

障害者支援施設「社会福祉法人うめの木学園様」には知的障害者自立支援活動として、部品梱包のご協力をいただいています。





2. 公平かつ公正な取引

お取引先様については、品質・価格・信頼性・納期の確実性・アフターサービス・既設設備との整合性・技術力・経営状態・サステナビリティへの取り組み姿勢などを総合的に勘案し、経済合理性に基づいて公平・公正に選定します。また、お取引における法令遵守を徹底します。

<社内外勉強会>

公正な取引を継続して行なうために、下請法講習会に毎年参加し、部内教育会を通じてメンバーの理解を深めています。



<スキル向上活動>

実務に必要な知識、スキルを幅広く学び、適切な購買・外注品の改善・管理方法を身に付けるために、2017年度購買部員全員が「資材購買・外注管理のプロをめざすコース」の通信教育を受講し修了しました。



3. 安定供給の推進

コマニーでは、お客様へ製品の安定供給を果たす上で、使用する原材料および加工品のお取引先様との関係強化を図り、国内で発生するさまざまな災害に対しても事業継続計画(BCP)を通して、より一層安定した供給体制を構築しています。特に原材料の調達においては、リスク分散の観点から複数のお取引先様を選定し、お客様に影響が出ないように展開しています。また、お取引先様満足度調査で挙げられた課題に対しては、納期改善の一環として発注時におけるシステム化・データ化などにも取り組んでいます。

4. お取引先様との交流

お取引以外にも、さまざまなイベントでの交流を通して、お取引先様との信頼関係を育んでいます。

<障害者チャリティ活動>

障害者支援施設「社会福祉法人なごみの郷様」には、当社グループチャリティ活動にも参加のご協力をいただき、交流の場を設けています。



<コマニー大運動会・コマフェス>

従業員、ご家族だけでなく、お取引先様にも参加していただき、仕事外で交流を深めたり、募金や清掃作業で社会貢献にも努めています。



3

地球環境との共存

私たちは、後世に美しい地球環境を残すため、「パーティション」そのものがもつエコ特性を活かし、商品展開を推進するとともに、生産活動において発生するエネルギーに対しても省エネ対策に取り組み、自然と共生できる企業活動を推進してまいります。

コマニーの環境保全活動

- ・二酸化炭素排出量削減
- ・不要物削減
- ・地域貢献活動
- ・エコ商品売上高比率増大

●環境マネジメント体制

製造・事務・製品・物流・施工・グループ子会社の6つの部会から構成する「環境保全委員会」を中心に環境保全活動を進めています。



●2017年度活動結果

2017年度は、工場の職場環境改善に伴う電力量増加や生産量増加に伴った生産の改善が不足したこともあり、CO2排出量、不要物量ともに増加しました。2018年度はグループ会社の合併により前年を上回るCO2排出量が見込まれますが、太陽光発電の増設や歩留まり向上などを今まで以上に推し進めることでCO2排出量および不要物の減量に取り組んでいきます。



●業務プロセスごとのCO2排出量割合



●環境保護活動の取り組み

1. 太陽光発電システムの増設

2014年度にコマニー太陽光発電システムが稼動し、再生可能エネルギーを利用することで、国内のCO2削減に貢献しています。2018年度には、新たに600kWの太陽光パネルの増設を計画しており、11月には完成する予定です。

なお、完成後の発電能力は1000kWになり、自給率換算では24%で、工場棟4棟のうち、第二工場と第三工場の電気使用量を太陽光発電で賅える計算となります。

「メガパワー」の自然エネルギーをこの地から創生!!



工場屋根上に設置した太陽光パネル



太陽光パネル増設後は、一般家庭約250世帯分の年間使用電力量に相当する電気料を太陽光発電で賅えます。



2. 本社敷地内建屋のLED化推進

2017年11月から12月にかけて、本社敷地内の事務所および工場の1900本に及ぶ蛍光灯および水銀灯のLED化を進めました。このことにより2018年3月の電気使用量実績は、前年同月と比較し67%の水準となり、一般家庭62世帯分に相当する使用料が削減できました。

3. 産業廃棄物広域認定制度の認定取得

当社は、自社で製造販売した製品を広く回収し、適正なリサイクルを行ない、地球環境に貢献するため、環境省の「産業廃棄物広域認定制度」の認定を業界で初めて取得いたしました。

- 認定取得日：2018年3月23日
- 認定番号：第276号



広域認定制度とは製品の製造事業者等が、廃棄物となった自社の製品をユーザーから回収してリサイクルすることを目的とした制度で環境大臣が認定します。産業廃棄物は、本来であれば、都道府県ごとに許可を得て処理することが原則とされていますが、回収やリサイクルの仕組みが高度に整備され、環境大臣が認めた場合に限り、自治体をまたがって産業廃棄物を輸送、処理することができる制度です。

4. 「コマニー絆の森」 ～植林・保全活動～

2013年に石川県と協働して小松市内にグループ従業員とその家族で植林した「コマニー絆の森」のクロマツは、その後も維持管理活動ですくすくと成長し、毎年、0.3tのCO2の削減につながっています。



5. エコ商品の開発

「エコマーク認定商品」、「グリーン購入法適合商品」、「コマニーエコラベル商品」の3本柱でエコ商品を構成しています。この中でも「コマニーエコラベル商品」は、環境に配慮した製品を認定する当社独自の基準です。この基準を運用し、お客様の環境負荷低減をパーティションを通じてお手伝いしています。



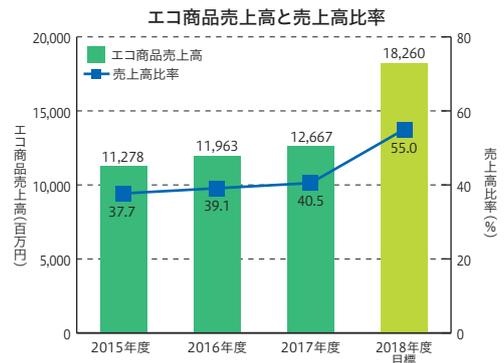
6. 物流段階におけるCO2排出量削減の取り組み推進

出荷製品の輸送手段をトラックからCO2排出量の少ない貨物列車などに切り替えるモーダルシフトのほか、1台で複数の物件を混載することによるトラック使用台数の削減を実践し、輸送によるCO2排出量の削減を推進しています。



● 今後の取り組み

- 1) コマニーが使用するエネルギーの半分は工場で使用しています。その使用状況を「見える化」することで、効率的、効果的な省エネルギー活動が実施できると考え、今後は電力使用状況などの「見える化」システム(工場エネルギー管理システム：FEMS)の導入を検討し、生産ラインや設備ごとにリアルタイムに電力使用状況などを把握することで、今まで気付かなかった課題にも取り組んでいきます。
- 2) 今後も太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの積極的活用を目指し、既存設備の省エネのみでなく、幅広い視野から地球温暖化対策に取り組んでいきます。
- 3) ガソリン使用量の削減を目指し、業務用車両として使用しているハイブリッドカーに加え、2018年6月にはお客様送迎専用の電気自動車を導入しました。





人間性尊重の職場づくり

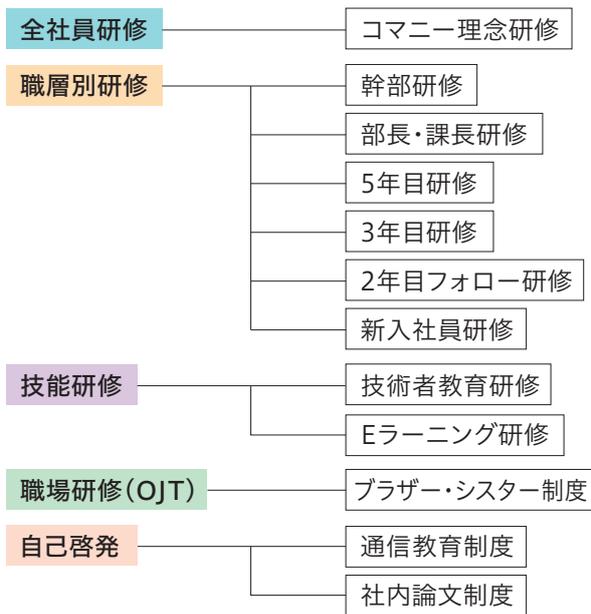
私たちは、すべての従業員が主役となり、働きがいと成長を感じられる職場環境を実現するため、一人一人の人間性を尊重し、活躍の場を与えられる制度づくりと、常に明るく前向きに活動できる組織風土づくりに努めてまいります。

4-1 人づくり

●人財育成について

- ・人間力向上のため、学びと実践を継続できる仕組みづくりを行ない、チームとして成果につなげられる研修を推進する。
- ・プロフェッショナル養成に向け、技術力の向上と伝承の仕組みを構築し、より質の高い技術者集団を作っていきます。

社員教育研修体系図



【主な研修の概要】

・コマネー理念研修

コマネーが大切にしている理念の体得を中心に、仕事との向き合い方やコミュニケーションの取り方を学びます。

・幹部研修

幹部としての考え方や部下育成における心の在り方等を学びます。

・部長・課長研修

幹部に必要な学びを共有し、責任者としてのレベルアップを行ないます。

・5年目研修／3年目研修／2年目フォロー研修

社会人として、経験したことをさらなるステップアップにつなげるために、目指すべき姿を描き、人間力の向上に取り組んでいます。

従業員満足度調査について

2017年度の従業員満足度調査で、684名(67.6%)の方から回答をいただきました。

調査から、現在の取り組みに対する成果や傾向について次のように考えています。

継続しているコマネー理念研修や職層別研修により、理念に対する理解度が上昇し、理念に共感し、実践できていると感じている従業員が増加しています。また、アメーバ経営に対しても同様に感じている従業員が増加しており、全社的に採算に対する意識が高まり、成果に結びついてきています。ただ、労働時間における残業時間管理などの課題は多く、今後はワーク・ライフバランスの推進により、働きがいのある職場環境づくりを進めていきます。

働き方の選択肢を増やすための制度づくりを行ない、有給休暇を取得しやすい職場風土づくり、幅広い層の方が活躍することができる環境を築いていきます。



4-2 ダイバーシティの推進

ダイバーシティから生まれる活力が企業の発展を支えます。従業員一人一人の持つ多様な能力を発揮できる組織の実現を図っています。

● 定年後の再雇用

当社では、働く意欲のある定年退職者が、自らのスキルを遺憾なく発揮できる職場づくりを目指し、シニアパートナーとして、再雇用する制度を導入しています。2017年度は、再雇用者は43名で、定年退職者は3名でした。再雇用率は93.5%となっています。

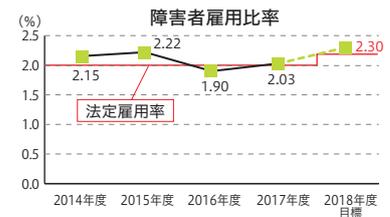


● 女性従業員の活躍に向けて

現在の女性管理職は11名(2017年度)です。女性従業員による「女性の働き方」の理想モデルを追求する女性活躍推進チームを発足させ、会議や研修における休日・時間外開催の見直しを行ない、女性も男性も共に仕事と家庭を両立しつつ、いきいきと働き続けられる環境づくりを進めています。

● 障害者雇用の促進

障害者が、個々の能力を発揮できるような人財採用に努めています。障害者雇用率は、2017年度は、2.03%となっています。



今後も積極的に障害者雇用を行ない、その障害の状態に合わせた職場配置を行なっていきます。2018年度は法定雇用率が2.2%となり、2021年度にはさらに0.1%引き上げとなります。社会全体としての障害者雇用推進の流れに合わせ、コマニーは積極的な雇用を行なうため、2018年度より前倒しで2.3%を目指します。

● 在宅勤務について

これまで、障害により通勤が困難な方のみ認めていた在宅勤務を、介護や育児などで通勤が困難な方にも柔軟に認めて在宅勤務の制度を利用しやすくしました。

● ジョブリターン制度について

結婚、出産、育児、介護、配偶者の転勤などの理由で離職した従業員に対し、積極的に受け入れ、再度の活躍の場を提供しています。

● 性的指向・性自認への対応について

社内勉強会を実施し理解を深めることにより、性的指向・性自認による差別をなくし、人間性尊重の職場づくりを行なっています。

4-3 ワーク・ライフ・バランス

従業員一人一人が働く喜びを感じ、充実した生活が送れるように、働きやすい職場環境づくりに努めています。

● 仕事と生活(育児・介護)の両立支援体制の構築

育児・介護の規程を整備し、「時差勤務」「時短勤務」を活用し、安心して働ける職場づくりに努めています。育児休暇取得率、また第一子出産後の継続就業率も高い水準を維持しています。

育児制度利用者の推移

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度目標
育児休暇取得比率	100.0%	100.0%	85.7%	100.0%	100.0%
時短勤務者比率	100.0%	90.0%	90.0%	100.0%	100.0%
第一子出産継続就業率	100.0%	90.0%	90.0%	100.0%	100.0%

● メリハリのある働き方の推進

① 労働時間の管理

労働基準法や労働協約に基づき、適切な労働時間、時間外労働、休日・休暇などに関する規則を就業規程に定めています。特に長時間労働を抑制するために、就業管理システムにて、一定の超過時間に達した時点で警告を出すなどの工夫を行なっております。また、週一回、全員定時退社する「ノー残業デー」を設定するなど、従業員の健康に配慮した取り組みを実施しています。

② 有給休暇の取得しやすい環境づくり

長時間労働や有給休暇取得率の低さが社会課題になっています。働き方改革による長時間労働の抑制、職場における生産性の向上等により、有給休暇を取得しやすい職場環境づくりを目指しています。



4

人間性尊重の職場づくり

4-4 安心・安全に働ける職場づくり

私たちは従業員の安全・健康が企業活動の基盤であると確信しています。

当社では、従業員の安全と健康を確保するために、総括安全衛生委員会における諸活動を通じて、「安全第一」の精神を基本に災害の未然防止を重点的に行ない、また健康管理面では健診を充実させるとともに、メンタルヘルスにも取り組み、従業員が安心して働ける職場環境づくりを推進しています。

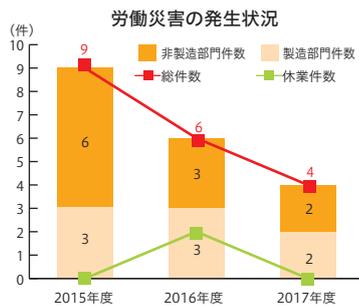
1. 安全衛生基本方針

コマニーグループ行動規範において、人間性尊重の職場づくりを第一に掲げ、本社・営業所、およびグループ会社の従業員一人一人が安全衛生に対する意識を高め続け、有意注意で未然防止の観点から危険の芽を摘み取り、再発防止にも努めることで従業員が健康で安全に働ける職場環境づくりに取り組みます。

2. 安全の目標

労働災害発生件数 0件／年

交通事故発生件数 0件／年



3. 重点実施活動

(1) 安全衛生の取り組み

小さな危険の芽を見逃さず、労働災害を未然に防ぐとともに、従業員の健康状態の把握に努め、メンタル対策にも取り組んでいます。

- ・リスクアセスメント活動、ヒヤリ・ハット、危険予知活動の実施 1回／月

(2) 交通安全の取り組み

安全運転管理者を中心に、車両管理、安全運転への意識を高める啓蒙活動を行ない、事故の未然防止に取り組んでいます。

- ・交通安全についての啓蒙[交通安全講習会の実施等]
- ・通信やGPS機能を備えた車載器の搭載による車両の運行管理

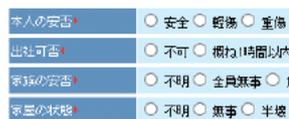
(3) 防災・防火の取り組み

災害・緊急時の対応力を強化するために防災訓練を実施し、非常時でも従業員の安否が確認できる体制構築に取り組んでいます。

- ・本社：防災訓練1回／年、防火訓練5回／年、緊急連絡訓練2回／年
- ・営業所：各テナントの防火・防災訓練への参加、安否確認報告訓練2回／年
- ※震度5強以上の地震発災時、安否確認メールの自動送信により、迅速な従業員の安否確認体制を構築
- ・大規模地震に備えた全社員分の備蓄品整備



防火訓練



安否報告画面



防災用ヘルメット



3日分の食料・水



4. 健康経営の取り組み

(1) 健康経営に取り組む考え方

コマニーグループでは、全従業員の物心両面の幸福の追求を経営の一番の目的にしています。私たちが幸福な毎日を送るには、自分も家族も心身ともに健康で明るくいいきと活躍できることが大切であり、そのために健康保持・増進のための具体策を実行する健康経営を推進します。

(2) コマニー健康宣言

コマニー健康経営宣言

コマニーグループは、全従業員が物心両面の幸福を目指し、従業員やその家族が心身ともに健康でいきいきと明るく元気に活躍できることを第一に考え、大家族主義という理念の基、会社、従業員・家族が一体となって健康保持・増進に取り組んでいきます。

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

(3) 重点取り組み事項

① 従業員と家族の健康増進

- ・健康診断項目の充実
法定項目以外に、眼底、歯科健診、がんを診断する腫瘍マーカー検査を追加しました。
- ・二次健診受診率100% ※2017年度実績：49.3% (183名/371名)
定期健診結果の「要治療」「要精密検査」判定者に対し、二次健診の受診を促しています。
- ・家族の健康診断推進
従業員を支える被扶養配偶者の方の健診受診の支援を開始しました。
- ・生活習慣病対策の強化
看護師による保健相談、指導を開始しました。
- ・ストレスチェックの全従業員実施
小規模事業所も含め、全従業員にストレスチェックを実施しました。



定期健康診断



今期より実施した歯科健診



看護師による保健指導



家族の健康診断推進

② 健康的な職場環境づくり推進

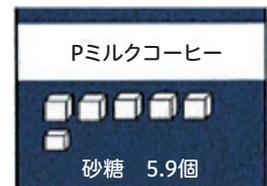
- ・禁煙促進・受動喫煙防止への取り組み



完全分煙化の実施



自動販売機商品の糖分表示(砂糖使用量の見える化)



③ 仕事と生活のバランス推進

- ・従業員への健康教育と理解促進
従業員が、より健康について身近に考えられるよう健康新聞を発行しました。



④ 「かがやき健康企業」認定証



健康づくりへの取り組みが優秀と認められた企業に贈られる「かがやき健康企業」に2016年度に続き2年連続で認定されました。

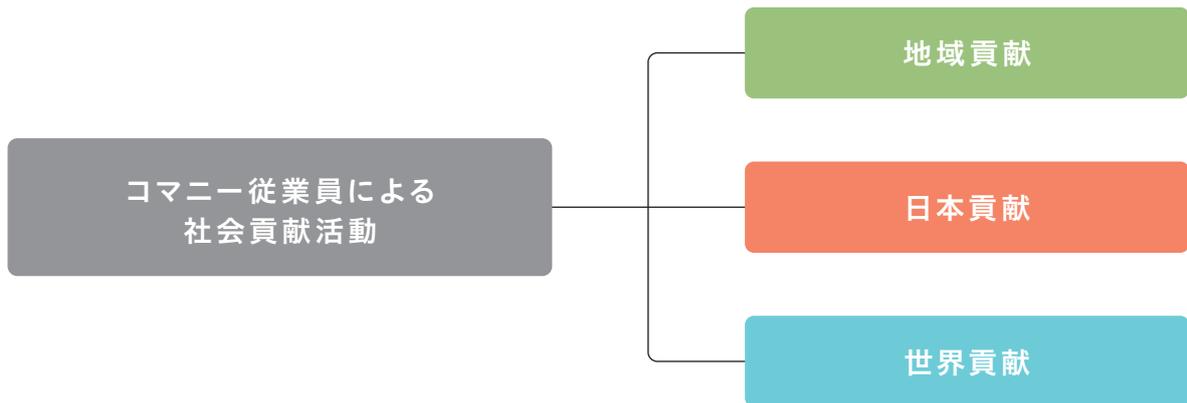
5

社会貢献活動

私たちは、将来にわたって子どもたちに明るい未来を残すため、従業員自らの良心によって主体的に活動することを基本に考え、地域貢献、日本貢献、世界貢献に取り組んでまいります。

コマニーの社会貢献活動

私たちは「企業は世の中の幸福に貢献するために存在すべき」という信念のもと、企業活動を行なっています。その活動は私たちの事業活動にとどまらず、それによって得られた利益と私たちの持つ良心と人的リソースを最大限に発揮し、より貢献を広げるために何ができるかを考え、行動することで社会貢献活動を展開しております。将来にわたって、より明るい未来を築いていくことができるように、私たち一人一人が主体的に考え、自らの良心によって主体的に活動することを大切にして地域貢献、日本貢献、世界貢献に取り組んでまいります。



従業員自らが考え、企画する社会貢献活動

コマニーでは、従業員自らが「私たちにできる社会貢献は何か?」「どんなことをして、社会に貢献したいか?」について意見を出し合っています。

その結果、「楽しみながら社会貢献を」「家族や地域の方へ感謝したい」という思いから「コマフェス」が生まれました。さらに、「子どもたちの未来のため」「平和な世界のため」になる活動を望む従業員の思いが、さまざまな貢献活動につながっています。



毎年、従業員有志が集まり、コマフェスの企画をしています。どうしたら、地域の方や子どもたちに喜んでもらえるか、みんなで案を出し合っています。



5-1 地域貢献

コマニー発祥の地であり、ともに歩んできた地元のお役に立ちたいと、地域でさまざまな活動を展開しています。

コマフェス

真夏の恒例イベントとなったコマフェス。新入社員のよさこい披露に子どもたちへのモノづくり教室など、毎年趣向を凝らしたイベントを企画しています。東京でも開催され、貢献の輪がさらに広がっています。今年にはさらに、SDGsとコラボして、環境について考えたり、SDGsを知るイベントになりました。



新入社員のよさこい演舞



コマフェス@小松

UEカフェ@小松

「何か人の役に立ちたい」「社会貢献活動を発信したい」という社会人やNPO、学生、主婦など、さまざまな分野の方々と垣根を越えて交流し、新たなコラボレーションを生み出す場であるUEカフェ。これまでも、カンボジアの図書館建設に共感した地域の図書館から絵本を提供していただいたり、貢献の輪が広がるきっかけとなっています。



第3回UEカフェ@小松



さまざまな人との交流

福祉施設でのボランティア活動

毎年、新入社員が地域の介護施設や障害者施設を訪問し、ボランティア活動を行なっています。施設の方のお世話をする中で、サポートする側、される側の両方の立場に立って学びます。今年は、人事部の従業員も全員が体験に参加し、介護で悩みを抱えている従業員に対しても働きやすい職場環境を整える必要性を実感することができました。



車椅子の講習



高齢者疑似体験

おしごとたいけん

小松市が行なっている、子どもたちが職業体験を通じて働くことへの理解を深めるイベント「おしごとたいけん」に地域企業として参加しました。小学生を対象に、モノづくりを通して働くことを体験してもらいました。楽しそうに、そして、真剣な眼差しで取り組む子どもたちの未来の姿を想像して、対応した社員もやりがいを感じることができました。大好評のため、社内イベントでも開催しています。



小松市「おしごとたいけん」



社内イベントでも開催

5

社会貢献活動

5-2 日本貢献

全国各地に販売拠点を構えるコマニーでは、そのネットワークを活かし、積極的な社会貢献活動を全国で展開しています。

南三陸町ボランティア

2011年3月に発生した東日本大震災により甚大な被害を受けた宮城県本吉郡南三陸町で、毎年継続してボランティア活動を実施しています。



漁業支援を実施

熊本県朝倉市ボランティア

今年も熊本県朝倉市でボランティア活動を行いました。衝撃的な光景を目の当たりにした新入社員は、ボランティアに対する考え方などさまざまなことを学びました。



災害発生6日後に訪問

平成30年7月豪雨災害ボランティア

今回の豪雨災害では、朝倉市の他に愛媛県宇和島市や岡山県倉敷市でもボランティア活動を行いました。支援金のほかにも、現地で必要とされる人手に対しても、従業員やその家族などから希望者を募り支援を行っています。



みかん農家さんを支援



災害現場を訪問

レモネードスタンド

「アレックスのレモネードスタンド」を取り上げた映像を知ったことをきっかけに始まったレモネードスタンド。今では、運動会やコマフェスなどのイベントでは欠かせないものになっています。開催場所も小松市の本社から東京へと広がっています。レモネードスタンドで得られた収益金は、小児がんの研究支援をしているNPOに募金として提供しています。



コマニー大運動会にて



コマフェスにて

自販機プロジェクト

小松市本社と東京で始まった自販機プロジェクトは、両エリアに設置されている自販機で自分が購入した一本が、誰かの一杯につながるという社会貢献活動です。売上の一部を、カンボジアの子どもたちのおかゆ給食の他、日本の子ども食堂などの支援にもつなげていきます。



あなたの一本が、誰かの一杯に



おかゆ給食を支援



5-3 世界貢献

世界各地には解決を必要とする多くの課題があります。グローバルに事業を展開する企業として、幅広い課題の解決に積極的に取り組んでいます。

カンボジア井戸掘り支援活動

2016年3月から始まったカンボジアの井戸掘り支援で、これまでに設置された井戸は19基となりました。井戸ができたことで、きれいな水を飲めるようになったのはもちろん、水汲みの時間を仕事や畑で作物を作ることにあてられるようになり、生活が大きく変化しています。



自らの手で井戸掘り支援



井戸掘りを支援した家族と

カンボジア図書館建設・絵本支援活動

コマニーが支援を続けているブレイ克蘭村の学校に、2018年1月、図書館が完成しました。これは、2016年12月の第2回支援メンバーが現地を訪問して掲げた夢が従業員をはじめ、共感していただいた皆様の協力で実現しました。日本の子どもたちからも、大きくなって読まなくなった絵本がたくさん送られました。



図書館「かけはし」完成



絵本を喜ぶ子どもたち

カンボジア里親支援

ブレイ克蘭村のサエン君16歳は、生まれて間もなく母親を亡くし、さらに父親も亡くしてしまいました。勉強が大好きで成績も優秀、将来は、村の発展のために貢献したいという志と村の未来を願って、サエン君の里親支援を行なっています。



サエン君を囲んで



子どもたちに勉強を教えるサエン君

ピースフレイムムーブメント

今日まで消えることなく守られてきた広島に投下された原爆の残り火である「平和の火」を灯し、世界の平和を考え、祈るピースアクションです。今年は、広島と長崎から被爆三世のアーティストを迎え、コンサートを開催しました。さらに戦争について深く考える時間となりました。



原爆の残り火で平和を祈る



アーティスト 佐々木リョウさん

6

コーポレート・ガバナンスに関する

私たちは、経営の理念をもとに、企業価値を増大させ、経営効率を高め、公正で迅速な意思決定の向上に努めていくことをコーポレート・ガバナンスの基本方針としております。今後も経営の健全性および透明性を確保するために、経営監督機能および法令遵守体制強化の重要性を認識し、コーポレート・ガバナンスの充実を図ってまいります。

6-1 コーポレート・ガバナンスの体制

当社は、監査役制度を採用し、取締役は9名、監査役は4名です。

取締役会

取締役会（経営方針の決定、業務執行の監督機能）につきましては、月1回定例開催しています。なお、事業環境の変化に迅速に対応できる経営体制を構築するため、取締役の任期を1年としています。

取締役会の諮問機関

委員の過半数が社外役員で構成されている指名諮問委員会および報酬諮問委員会を設置、運用しています。いずれも取締役会からの諮問を受け、指名諮問委員会は役員等の人事等を審議し、報酬諮問委員会は役員等の報酬等を審議して、取締役会に答申することで、この事項に関する客観性および透明性を確保しコーポレート・ガバナンスの強化を図っています。

監査役(会)

監査役会において定めた監査方針・監査計画に基づいて、監査役は取締役会等の重要な会議に出席し、取締役の職務執行を監査できる体制となっています。

常務会

常務会は、経営戦略・経営計画など、取締役会において審議を行なうものと、常務会にて経営陣に委ねるものを明確にし、取締役会による監督および意思決定と業務執行の分離を図っています。

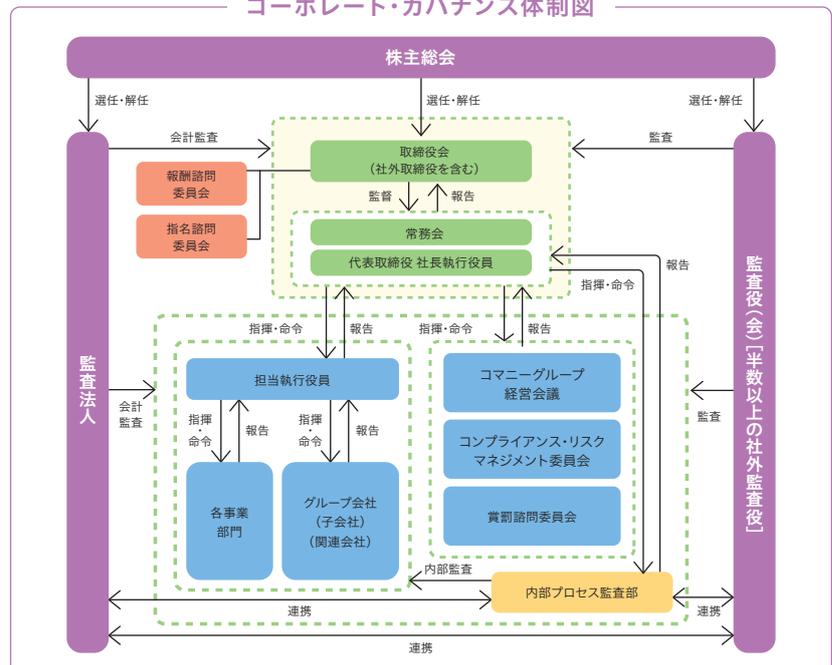
コマニーグループ経営会議

コマニーグループ経営会議は、月1回開催されます。社長執行役員が議長となり、執行役員、連結子会社の役員に加え、関係部門責任者が参画し、経営戦略の全社共有化を図り、事業環境の変化に迅速に対応できる意思決定に結びつけています。

コーポレート・ガバナンス体制一覧表

機関設計	監査役会設置会社
取締役の人数(うち、社外取締役)	9名(3名)
監査役の人数(うち、社外監査役)	4名(2名)
取締役の任期	1年
執行役員制度の採用	有
取締役会の任意諮問機関	指名諮問委員会・報酬諮問委員会
会計監査人	有限責任 あずさ監査法人

コーポレート・ガバナンス体制図



6-2 コーポレート・ガバナンスの取り組み

当社は、さまざまなステークホルダーに信頼される企業であり続けるために、多様かつ長期的な視点からコーポレート・ガバナンス体制を構築してまいります。昨年度の内部統制上、重要と考える主な取り組みは、次のとおりです。

経営理念の徹底および内部統制監査の取り組みについて

当社グループは「我等の精神は人道と友愛である」という心をベースにした「コマニー理念」の浸透を図るため「コマニー理念手帳」を作成し、毎朝の朝礼時に輪読を行なうとともに、理念教育として「コマニー理念研修」を毎年実施し、役職員等への理念の浸透も図っています。また、2018年3月16日開催の取締役会において、取締役および使用人が職務を執行するにあたっての遵守事項として定めた「コマニーグループ行動規範」の一部改定を行ないました。法令、企業倫理、社内規程等を遵守し、社会規範に沿った責任ある行動をとるよう、当社グループ内へ「コマニーグループ行動規範」の周知徹底を行なっています。当社は「内部監査規程」の通り、社長直轄の内部プロセス監査部の主導で取締役会で承認された年間監査計画に基づいた当社グループの監査を実施し、監査結果を取締役に報告しています。国内外の関係会社については「関係会社管理規程」の通り、定期的に業務運営のモニタリングを実施しています。

コマニーグループ行動規範:

<https://www.comany.co.jp/company/philosophy/codeofconduct/>



これまでの取り組み

1999年	執行役員制度を導入
2004年	取締役の任期を1年に短縮
2008年	報酬諮問委員会を設置
2013年	社外取締役制度を導入
2015年	取締役会自己評価を開始 指名諮問委員会を設置 常務会を設置
2016年	社外役員の独立性判断基準を制定 社外役員を1名増員し3名選任
2017年	コマニーグループ行動規範を改定



朝礼風景

コンプライアンスおよびリスク管理に関する取り組みについて

当社は、「リスクマネジメント規程」、「営業秘密管理規程」、「特定個人情報の適正な取り扱いに関する基本方針」や「特定個人情報取扱規程」等の社内規程を整備し、コンプライアンスに関わる施策やリスクマネジメントの対応施策を審議する機関として「コンプライアンス・リスクマネジメント委員会」を設け、毎月開催しています。また、国内子会社からも委員会メンバーを募り、四半期毎に「コンプライアンス・リスクマネジメント委員会」に参加を求めグループの重要リスクの低減を図っています。国外子会社につきましては、毎月リスク管理に関する打合せを行ない重要リスクの低減に努めています。

当社および国内子会社は、職場において企業倫理やコンプライアンス意識の浸透・向上を図るため、全従業員を対象にしたコンプライアンス教育を実施し、さらに、eラーニングによる教育を展開しています。また、社内掲示等を利用した法令遵守等の情報発信を継続的に行なっています。

当社は、「コンプライアンス ホットライン規程」を整備し、当社および国内子会社の役職員等からの内部通報に対応できるよう努めています。また、第三者機関を窓口とする内部通報窓口を社外に設置し、不正行為等の早期発見と未然防止を掲げています。反社会的勢力の排除に関しては、社内掲示等を利用した役職員への周知徹底や取引契約書への反社会的勢力排除条項の織り込み等を行なっています。



コンプライアンス教育風景



GOMANY
あ、ココにもコマニー



This is our **Communication on Progress** in implementing the principles of the **United Nations Global Compact** and supporting broader UN goals.

We welcome feedback on its contents.

コマニー株式会社

〒923-8502 石川県小松市工業団地1丁目93番地

URL <https://www.comany.co.jp/>

経営企画部 TEL 0761-21-1201

FAX 0761-24-1901



このカタログは、環境に優しい植物油インキを使用しています。

第3版

○このカタログの内容は2018年10月現在のものです。○商品改良のため予告なく仕様を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。○カタログの写真は印刷のため、商品の色と多少異なる場合があります。